

2025 年 9 月 24 日

出場団体各位

公益財団法人日本太鼓財団

第 27 回日本太鼓ジュニアコンクール演奏の審査講評について

この度は大変長らくお待たせしてしまい申し訳ございません。

第 27 回日本太鼓ジュニアコンクールの演奏に関する審査講評を下記の通りまとめましたのでお知らせいたします。

今大会は、全国の 36 支部及び地区コンクール（北海道・東北・九州）並びに、ブラジル・台湾での予選を勝ち抜いた代表 45 団体に前年度優勝団体が参加し、大分県大分市・iichiko グランシアタにおいて 2,000 名を超える観客を前に開催されました。さらに、今年も大会の模様をインターネットによりライブ配信したことにより日本国内のみならず世界各国においても多くの皆様に観て頂くことができました。

この講評内容は、審査委員 7 名の評価に加え、技術委員 5 名が演奏技術と課題曲における正確さや表現力、また自由曲における創造性などを、大会後の技術委員会で取りまとめたものです。各団体がこの講評を参考に、今後も益々精進されることを期待しております。

記

1. 総評

- ・毎年のことながら、出場団体のレベル向上を感じる大会でした。

ステージで練習の成果を思う存分に発揮し、悔い無く、気持ち良く打てたことは、観客にも十分伝わったと思います。コンクールである以上、優勝を意識することは分かりますが、これができるればおのずと目標を達成することができると思います。

今後とも、結果にとらわれず、礼節を重んじ、他団体の模範として活躍されますよう期待いたします。

- ・課題曲については、曲中にテンポが変わるということで、皆さん演奏に苦慮されるかと思いましたが、どの団体も楽譜通りにしっかり演奏されていました。

ただ、楽譜を追うことで必死になり、譜面通りの無難な演奏に終始した団体が多かったように思います。振りやアレンジを加えることが他団体との差別化にも繋がりますので、それぞれの団体に工夫されると良いと思います。

- ・ レンタル太鼓を使用した団体については、太鼓の音のバランスが気になりました。
楽器を選ぶ際には、その太鼓の音に合ったバチを使用する等の対応が欲しいと感じました。
- ・ ステージ全体を広く使用したいがために、楽器の配置が離れ過ぎている団体が見受けられました。楽器の配置を離すことは、音のバラつきに繋がることもあるため、見栄えよりもしっかり音を前に出すための配置を考える必要があると思います。
- ・ 手、顔、体の動きが機械的に感じられる演奏が多々見受けられました。1、2、3 と決めつけるような演奏ではなく、自然体での演奏を心がけましょう。
そうすることで、作られた表情ではなく、自然の表情が出てくると思います。
- ・ コンクールである以上、技術面を重視、意識していることは理解しますが、曲が難解で聞いていてほっとする演奏があまりありませんでした。
また、自然と惹きつけられるような、背筋がゾクっとする演奏が欲しいと感じました。
- ・ 創作太鼓に伝統太鼓が上手く融合されてきたと思います。ただ、曲の構成においても、創作と伝統が別々のものにならないような工夫をすることが大切だと思います。
- ・ パート毎の練習をし過ぎてているせいか、パートからパートへの繋ぎが甘く、雑になっており、音楽として上手く繋がっていないように感じました。次のパートを演奏する人のことを頭に置き、最後の一音を意識しましょう。
- ・ 手を早く動かすこと、難しいフレーズを打つこと等、高い技術を身に付けることは良いことではありますが、太鼓本来の音、聞きやすい音を出せることが出来てからの技術、ということを中心掛けましょう。

2. 審査委員並びに技術委員について（五十音順・敬称略）

(1) 審査委員

審査委員長	松枝 明美（技術委員会委員長）
審査委員	浅野 昭利（一般財団法人 浅野太鼓文化研究所理事長）
	大藏 基誠（能楽師）
	川村 真悟（太鼓芸能集団鼓童プロデューサー）
	喜 多 郎（音楽家）
	古屋 邦夫（財団副会長）
	山部 泰嗣（太鼓奏者）

(2) 技術委員

川原 邦裕、高島 奈々、野方 嘉孝、長谷川 準、若山 雷門

3. 演奏内容について

参考のため全出場団体の講評をお送りします。別紙の講評コメントを参照してください。

4. 審査結果について

優 勝・内閣総理大臣賞

準優勝・総務大臣賞

第3位

文部科学大臣賞

第4位・大分県知事賞

第5位・大分市長賞

特別賞

大分県教育委員会教育長賞

大分市教育委員会教育長賞

OBS大分放送賞

OAB大分朝日放送賞

大分合同新聞社賞

浅野太鼓楽器店賞

諏訪響太鼓店賞

宮本卯之助商店賞

丸五賞

篠笛立平賞

ブラジル太鼓協会賞

台湾太鼓協会賞

国際友好賞

国際友好賞

橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）

糸島二丈絆太鼓（福岡）

輪島・和太鼓 虎之介（石川）

輪島・和太鼓 虎之介（石川）

由布はさま太鼓（大分）

舞鶴一座 秋月鼓童（宮崎）

あさぎり町和太鼓保存会（熊本）

岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組（福島）

やまばと太鼓（秋田）

打鼓音ジュニア（神奈川）

會津田島太鼓「狐ノ刃」（福島）

火の神乙女太鼓 爽（鹿児島）

院内童龍太鼓（大分）

大和太鼓保存会 鼓天童子（佐賀）

越中いさみ太鼓保存会春蘭（富山）

カスカベル 前進太鼓（ブラジル）

やまばと太鼓（秋田）

和太鼓 鼓楽 Jr.（北海道道北）

カスカベル 前進太鼓（ブラジル）

葫蘆墩 Smile 太鼓團（台湾）

以上